

モビリティリゾートもてぎ サーキットライディングマニュアル

モビリティリゾートもてぎ

2025年5月11日 発行

= 走行前に =

サーキット走行する際は、定められた規則を熟知し、当該施設の指導員・係員、オフィシャル等の指示に従わなければなりません。走行する**全てのライダーがルールを守る**ことで、より安全に**モータースポーツを楽しむ**ことができます。走行に際して起こった負傷や損害等は、**参加者自らが責任を負う**ものです。ピットレーンを含むレーシングコース内は、一方通行です。

= ピットレーン =

- ① ピットレーンの制限速度は、**60km/h**です。
- ② ピットレーンにおいては、ピットインする車両および、**先にピット走行レーンを走行している車両に優先権**があります。
- ③ ピットレーンは以下のように区分されます。

A : ピット走行レーン

B : 補助レーン

C : ピット作業エリア (コンクリート舗装)

※ピット作業エリアを走行することは禁止です。



= コース走行 =

- ① 「PIT EXIT」のシグナルが「**グリーン**」の時のみ、**コースイン可能**です。
- ② コースインする際は、**ピットレーン出口から1コーナー手前**にある左側の**白線をはみ出して走行してはいけません**。これは、高速で通過する車両と、低速で走行するコースイン車両の接触を防ぐためです。



- ③ コースインするときは、ピット出口から1コーナー付近までは、**手を挙げる**などして走行中のライダーに合図を出し、自身も周辺の安全を目視で確認してください。
- ④ ピットレーンを出て**第4コーナーを立ち上がるまでコースの右側**を走行し、後方から近づく車両の走行を妨げないよう

にしてください。また十分な速度まで加速してからレコードラインに合流してください。

- ⑤ サーキット走行においては、基本的に**レコードラインを走行する車両が優先**です。
- ⑥ スロー走行中のライダーは、レコードラインを走行するライダーを妨げてはいけません。スロー走行とは、マシントラブル／初心者走行／コース慣熟走行／下見走行の事をいいます。スロー走行車は基本的にはコースの**右側(もてぎの場合)**を走行してください。
- ⑦ 走行中に車両トラブルが出たら……

手を挙げて周辺にアピール⇒ 後方の安全を確認⇒ 車両をコース右端ラインに変更

- ⑧ピットインするライダーは、
V字コーナー立ち上がりよりラインを右端に寄せ、
手でピットインの合図を行った後、安全を確保し
ピットロードまでスピードを抑え走行してください。



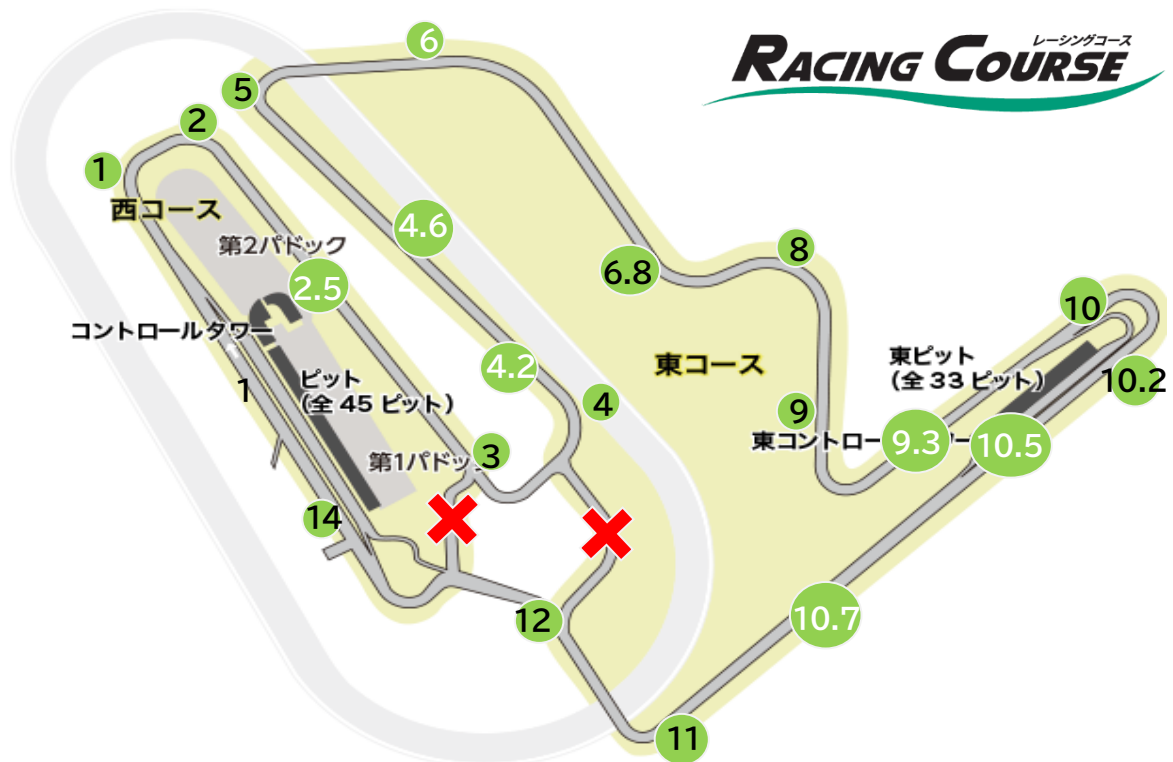
- ⑨ピットインするライダーは、
90度コーナー立ち上がりよりコース右端を走行し、
ピットロードに進入してください。
ピットインする際は、レコードラインを走行する車両に対し、
手を挙げるなどの合図を出してください。

**※90度コーナーからビクトリーコーナー区間は
レコードラインと接近するポイントがあるので
注意して走行してください。**



= 走行中の遵守事項 =

- ① 走行中のライダーへの情報伝達は、**フラッグ・ライトパネル・ゼッケンボード**にて告知されます。
- ② 各表示物は、監視ポストから提示されます。
- ③ ライダーは提示される**公式シグナルを確認する義務**があります。走行中、オフィシャルが公式シグナルを示した場合、各ライダーはそれに従わなくてはなりません。無視した場合には重大な罰則が科せられる場合があります。
- ④ スポーツ走行では、**黒文字のポストのみ**オフィシャルが待機します。
- ⑤ スポーツ走行や、スクール開催時、コースインの**1周目は待機ポストから「緑旗」が静止表示**されますので、どのポストからフラッグが出されるか目視確認をしてください。



- ⑥ 不必要な急減速は追突される恐れがあります。特にストレートではトラブル時以外は急激にアクセルを戻さないようにしてください。
- ⑦ いかなる場合も、**逆方向への走行あるいはコース外を走行してはいけません。**
- ⑧ 西ショートカット、東ショートカットの走行は禁止です。(図の×の箇所)
- ⑨ ストレートでは、前車を追い越す**以外の目的で進路を著しく急激に変更することは禁止**です。
- ⑩ 異なる排気量や競技車両の特性により、トップスピードに大きく差があるため、スリップストリームにつくのは大変危険です。追突しないよう十分注意してください。
- ⑪ 他のライダーの走行を妨害するような走り方をしてはいけません。
- ⑫ 必要以外にハンドルから手を離したり、足をステップから離し、また外に突き出したりするような危険な姿勢はとらないでください。

2. ピットクルー (お手伝いの方)

- ① 安全上、長袖・長ズボンなどの適切な服装を着用するようにしてください。
特にサンダル等かかとのない履物でピットロードに出るのは、禁止です。
- ② ピットクルーも参加する走行に関する規則を熟知し、常に安全に対する認識を持ってください。
- ③ ピットイン・ピットアウト車両に十分注意してください。
- ④ ピット内は火気厳禁です。特に喫煙は指定の場所でおこなってください。
- ⑤ オイル漏れや事故のないように、メカニックは特にブレーキ系とオイル周りの安全対策を怠らないでください。

3. 追い越しの方法、追い越される方法

・コース内では、速い車両が遅い車両に配慮して走行してください。

・監視ポストから下記フラッグが出される場合があります。

「ブルーフラッグ」と「白黒斜め 2 分割」は、走行中の速度差に注意喚起したフラッグです。

青旗(ブルーフラッグ)



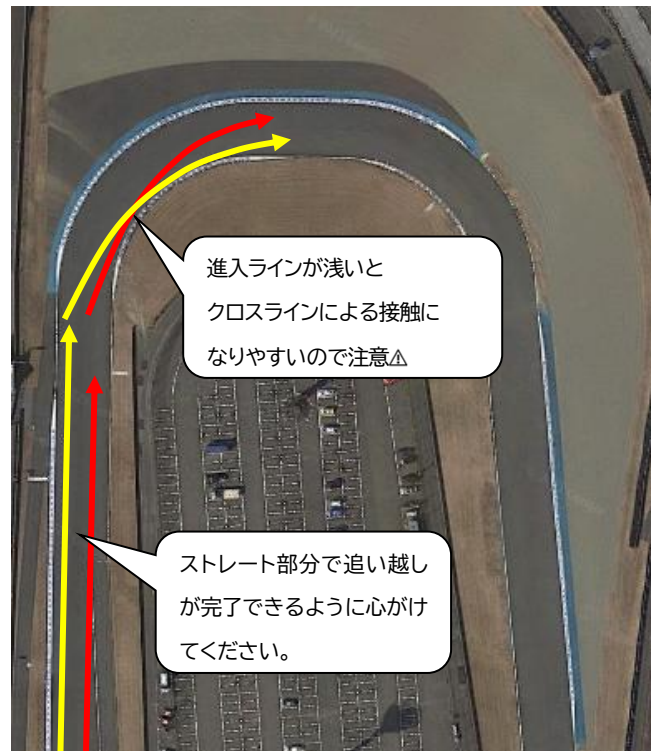
後方よりペースの速い車両が接近し、追い越される状態にある。

白黒斜分割旗



静止
前方にスロー走行車両があることを示す。
振動
前方のスロー走行車両と走行ラインが重なる可能性を示す。

- ・スポーツ走行やスクール・走行会では安全に追い抜くために、長いストレートを使用しましょう。
- ・ライダーには、目線と死角があります。コーナリング中の無理な追い越しは、控えましょう。
- ・追い越した後に、追い越した車両の前に割り込むと視界を塞いでしまい、大変危険です。



4. 重要事項

① 車両トラブル等が発生し、スロー走行になってしまった場合

周囲の状況を把握してレコードラインを避けるなど安全面に最大限の注意を払って走行してください。





また後続車に、トラブルが起こっていることを「両手を振る、手を挙げる」などをして必ずアピールしてください。

- ### ② コース上は走行のみに使用されるものであり、いかなる場合でも作業は禁止です（転倒修理・エンジンをかける・押しがけする）。また、コース際でエンジン始動を試みる例が多く見られます。エンジン再始動をする場合はコースからできるだけ離れ、安全なところで試みてください。

③ 車両にトラブルが発生し、走行を止める場合

トラブルに気付いたら走行ラインを外して左右どちらか近い方のセーフティーゾーン（コースから出来るだけ離れている場所）に車両を止めてください。転倒した場合は、まずライダーが安全な所へ避難してください。特にオイルによる転倒は、後続車も同じ場所で続々と転倒してくる可能性があるので注意してください。そして、できる限り後続車へ知らせる努力をしてください。安全なタイミングを見て、電源と燃料コックをオフにして火災やガソリン漏れを防止してください。

※トラブル時はフラッグによる指示も出ます。

<p>●黒旗</p>  	<p>2輪振動表示／カート不動表示 車両の番号と共に表示。 表示された番号の車両は次の周回時にピットインレス スタッフの指示に従ってください。 ※ボードを使用せず、走行者に指差して指示する場 合があります。</p>
<p>●オレンジディスク旗</p>  	<p>2輪振動表示／カート不動表示 車両の番号と共に表示。 車両に機械的故障、火災またはその他の問題があり、その 事にドライバー・ライダーが明らかに気づいていない場 合、または危険と思われる場合に表示。 フラッグを確認したら、ただちにグリーン等の安全な場所 に入り車両と共にガードレールの外へ退避してください。 ※ボードを使用せず、走行者に指差して指示する場 合があります。</p>

④ マシンのトラブルにより自走でピットに戻れない場合

マシンをガードレール沿い、もしくはサービスロード内まで移動させてください。

コース内でストップした車両は、近いほうのコースサイドにあるサービスロードでレッカー車による回収を待ってください。

※コース内はヘルメット着用

自分が転倒した場所では、他のライダーも転倒するかもしれません。

ガードレールの外に出るまではヘルメットを被ったまま行動してください。

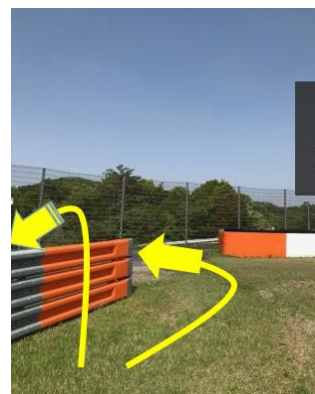
ライダーがグリーン内にいる場合は、コース上は「黄旗区間」になり、追い越し

禁止等で走行するライダーを拘束します。ご自身の安全を確保するためにも、

できるだけ早くコース外に退避をしてください。

外へ避難する際は、オレンジマーキングの開口部から出るか、ガードレールを

乗り越えてください。



⑤ スリップダウンした場合：ライダーは自身の安全を確保するため、転倒場所から退避してください。

その際後続車へのアピールと、後続車に注意しながら避難してください。バイクを自身で起こし再スタートできる場合は、後続車に注意しながら安全な地点から再スタートしてください。

⑥ オーバーラン+グラベルストップした場合：オーバーラン（コースから脱輪）すると、グラベルベッドにて停止します。

再スタートできる場合は、**マシンから降りてタイヤにかかる荷重を減らし**、半クラッチ等を使用しながらタイヤバリアまで移動してください。カウル内にグラベル材（砂利）が入ります。タイヤに泥が付く場合があります。タイヤバリア前の緑地帯などを走行してコースに復帰してください。復帰の際にコースにまき散らさないよう車両の確認をしてください。

また、グラベル上で転倒し、復帰した場合は、車両各所に小さな砂粒が挟まっている場合があります。コース右側をスロー走行し、**ピットに戻り各所の動作点検を実施してください。**

※キャリパーや、ブレーキレバー付け根に小石が挟まり、ブレーキが利かないブレーキを引きずっている可能性があります。

⑦ オーバーラン+グラベル上で停止し走行が継続できない場合：マシンが移動できる場合は、ガードレールもしくはサービスロードまでマシンを引き込んでください。移動できない場合は、走行するライダーに対し、障害物であるリスクを下げるために、**マシンを倒し**、ライダーは、ガードレールの外側に避難してください。

⑧ ハイサイドを起こした場合：コーナリング中に急激なタイヤのグリップの回復により「ハイサイド」となり転倒するアクシデント

があります。転倒し路面に落ちてしまった場合は、落ち着いて周辺（方向）を確認して体を丸めてゴロゴロと転がりコース外に出たほうがより安全とも言えます。

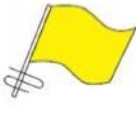
メカニカルなアクシデントについて

- ⑨ **アクセルが戻らない場合**：アクセルが戻らず減速できない場合は、キルスイッチでエンジンを停止させてください。
- ⑩ **ブレーキが効かない場合**：エンジンブレーキと、シフトダウンを併用し減速させてください。その際オーバースピードでコーナーに差し掛かり、曲がり切れない場合は自発的にマシンを倒す・車両から飛び降りる等、自身を守る行動に移ってください。
- ⑪ **ガス欠した場合**：**手を挙げて合図し**、マシンがコース上に停止しないように、コース横のグリーンなどにマシンごと避難してください。
- ⑫ **ギヤが入らない場合**：クラッチを切り、ブレーキで減速しコースの安全な場所に停止させライダーは、避難してください。
- ⑬ **白煙が出た場合**：白煙走行およびオイル漏れ・液体漏れは**後続のライダーのスリップ**を招く恐れがある為、コースから離脱し、ランオフエリアにマシンを退避させてください。また、自身も巻き上がった液体によりスリップし転倒することがありますので、ご注意ください。
- ⑭ ライダーが**避難する際は、コース横断は絶対にしない**でください。
- ⑮ 転倒車両を目撃したら、**転倒したマシンからオイル・ガソリン等が漏れている場合がある**ので、十分注意して走行してください。
- ⑯ コースに復帰する場合、安全な場所にてオイル・ガソリン・冷却水・ブレーキオイル等の漏れが無いか、マシンが走行可能かどうか確認してください。ブレーキ等の重要保安部品の破損がある場合、無理にピットまで戻らないでください。
- ⑰ 転倒やコースアウトをするとカウリング内に泥・砂利・草等が入ることがあります。また、タイヤに泥が付着することがありますので、そのままコースに復帰せず芝生部分を走行するなどしてタイヤから泥を落としてください。
- ⑱ コースアウトして復帰する場合、後方の安全を確認したのちにコースに復帰するようにしてください。
- ⑲ コース内では、ガードレールの外に出るまでヘルメットを着用してください。
- ⑳ 走行中の落下物が非常に多く見られます。走行前の点検・増し締めを怠らないようにしてください。
常にスポーツマンとしての態度を保ち、品格を疑われるような言動・行動は厳に慎むようにしてください。
走行時には、アルコール類あるいは薬品（興奮剤等）を使用してはいけません。

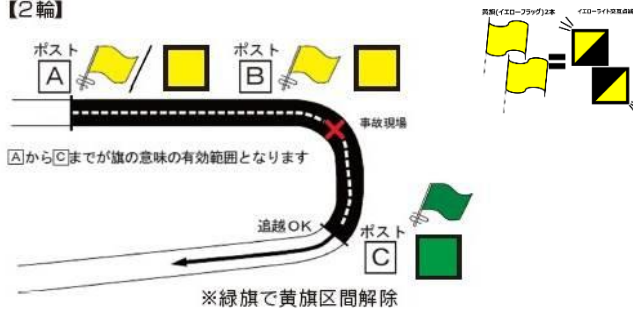
*** 走行中、早いライダーは遅いライダーを気遣ってください**

以上

フラッグ規定

旗の種類	2輪	4輪
●黄旗 	1本の振動表示 その先に、トラブル地点あり 危険。 場合によってはコース上に障害物あり。トラブル地点を回避できる速度まで減速し、注意して走行してください。 2本の振動表示 車両が走行ライン上に残ってしまった場合など、より危険な状況の場合表示。十分に注意して走行してください。 ※走行者同士の追越は禁止です。 また、コース脇にてストップした車両の撤去作業中にも表示されます。	

例：スポーツ走行時にトラブルが発生した場合の基本的な信号旗
【2輪】



旗の種類	2輪	4輪
●赤旗 	振動表示 重大な事故発生。 全車走行中止の合図であり、確認後、合図を出して右端走行をしてください。この際、全ての走行車両は徐行、追越禁止となります。 走行者は最大限の慎重さと細心の注意を払いながら、必要に応じて停車できる速度で走行し、ピットインしてください。 また、直線部分等では急激に進路変更をすることを禁止します。	
●オイル旗 	振動表示	不動表示
●緑旗 	振動表示/不動表示 ・コースイン1周目にポスト員が待機している所から不動表示。1周目は確認しながら慣熟走行をしてください。 ・黄旗区間解除の合図	
●白旗 	振動表示 コース上に緊急車両（救急車、消防車、マッシュルカー等）が入って走行中であることを告知。 注意して走行してください。走行車両同士は追い越し禁止です。緊急車両を追い越した時点から走行車両同士は追い越しが可能です。	
●青旗 	振動表示 より速い車両、あるいは複数の車両が追い越そうとしていることを告知。 ※進路を急に変えないでください。 ※追い越される側が、相手の存在と位置を既に知っているポスト員が判断した場合は、青旗はあえて表示しない時もあります。	
●白黒斜め2分割 	不動表示 前方にスロー走行車両があることを告知。 振動表示 スロー走行車両とラインがクロスする可能性があることを告知。	

旗の種類	2輪	4輪
●レッドクロス 	振動表示 コース内で雨が降り始めていることを告知。	
●レッドクロス+オイル旗 	振動表示 雨の影響により路面が滑りやすいことを告知。	
●黒旗 	振動表示	不動表示
●オレンジディスク旗 	振動表示 車両の番号と共に表示。 車両に機械的故障、火災またはその他の問題があり、その事にライダーが明らかに気づいていない場合、または危険と思われる場合に表示。 フラッグを確認したら、ただちにグリーン等の安全な場所に車両を止め、安全を確認後、運転者はガードレール外側に避難してください。	不動表示 車両の番号と共に表示。 車両に機械的故障、火災またはその他の問題があり、その事にドライバーが明らかに気づいていない場合、または危険と思われる場合に表示。 表示された番号の車両は次の周回時にピットインしてください。 危険な場合は、ただちにグリーン等の安全な場所に車両を止め、安全を確認後、運転者はガードレール外側に避難してください。
●チェッカーフラッグ 	振動表示 スポーツ走行終了の合図。 チェッカーフラッグを受けた後はコースを1周してピットインしてください。追越禁止です。 ※この時、全コース内ポストでは、チェッカーフラッグを受けた最初の車両から、黄旗を不動表示します。	

表示板

10

コントロールラインにて黒旗/オレンジディスクと合わせて表示。
当該セクシンの車両は、ピットインおよび、場合によっては、安全な場所に停車しなければなりません。